



水の循環

～次世代へ引き継ぐために～

水は循環している

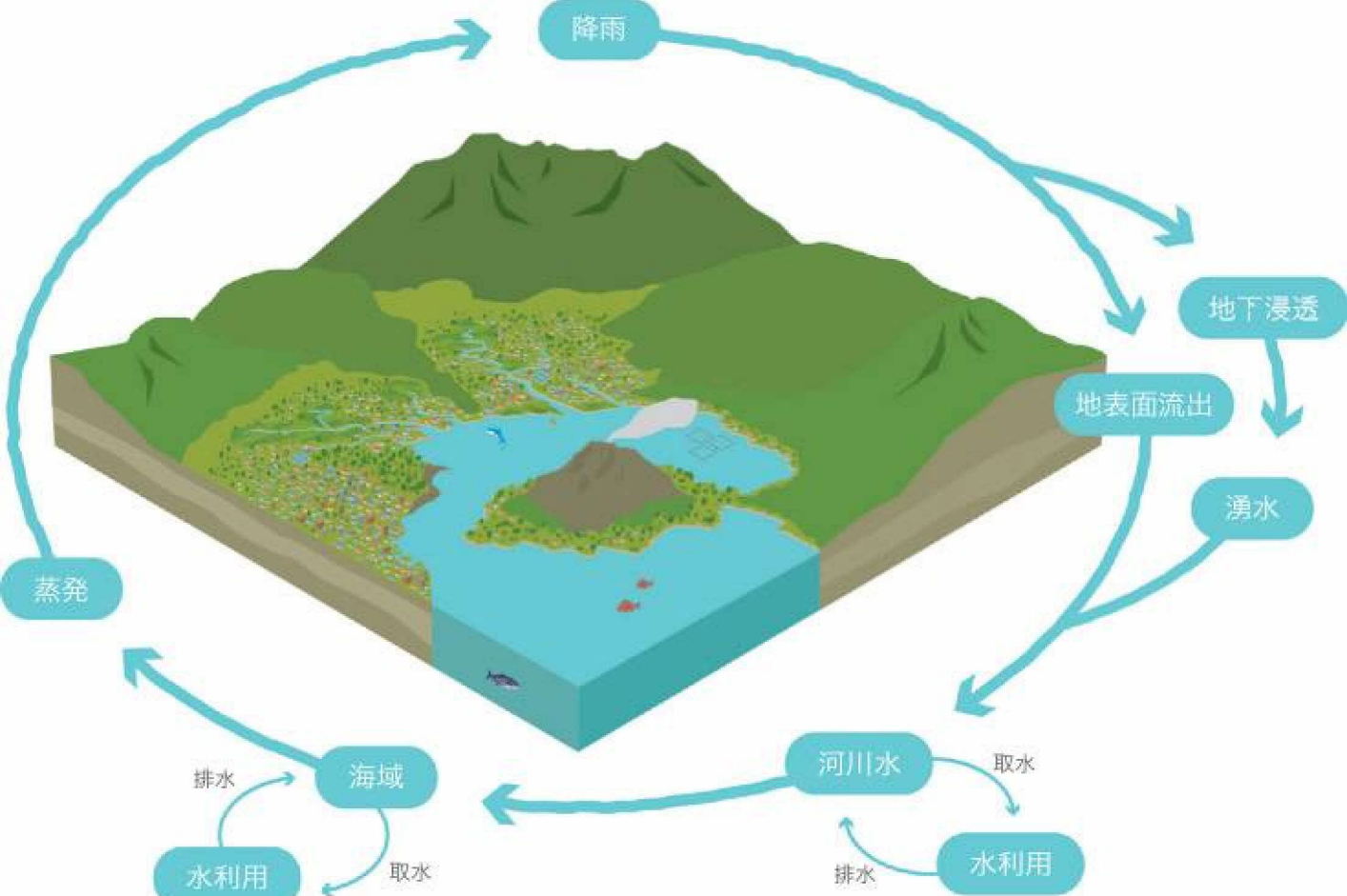
私たちにとって、錦江湾奥の美しい水の景色は、かけがえのないものです。

この水は、ずっと同じところにとどまっているのではなく、
ときには海をめぐり、ときには蒸発して雲に、そして雨となります。
雨は大地を潤し、いくつもの小さな流れはあつまり、川となりやがて海に戻ります。
その間、水はすべての生きものを育み、命の源となります。

はるが昔から続いてきた、この水の循環は、これからも保たれていくのでしょうか。

例えば、森が枯れ、川や海が汚れる。
人の活動によって水循環のバランスが失われると、
私たちの生活や生きものに影響すると心配されています。

私たち、一人ひとりが水循環の大切さを知り、守っていくため、
”錦江湾奥流域水循環計画”をまとめました。



錦江湾奥の水がめぐるしくみ

水は汚さず、大切に

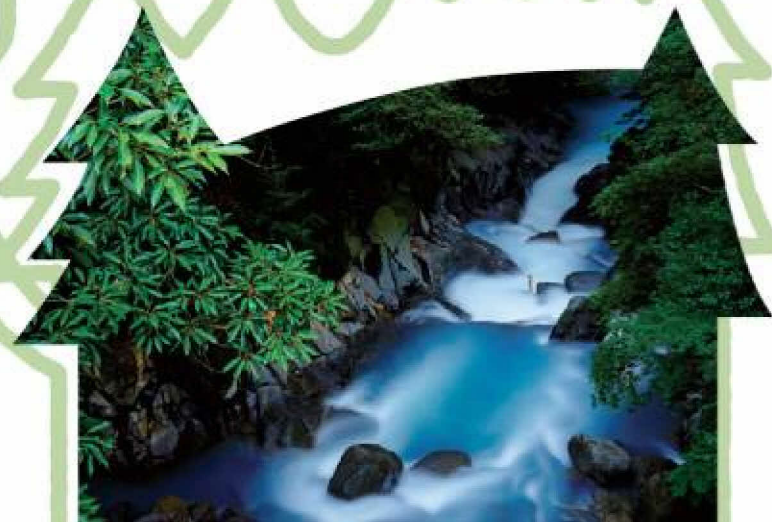


私たちの生活に水は欠かせません。暮らしの中でどれくらい水を使っているか、自分は水を汚していないか、一度考えてみましょう。また、水環境を守る活動は身近に行われています。地域の清掃活動などに参加することが水環境を守るにつながります。



森を守ると海が守れる

水深200メートルを越える錦江湾奥。魚の種類がとて多く、また野生のイルカを見ることができます。海底では、火山ガスを栄養とするサツマハオリムシという珍しい生きものがあります。この海は様々な生き物を育てることができる「豊かな海」なのです。





豊かな生態系



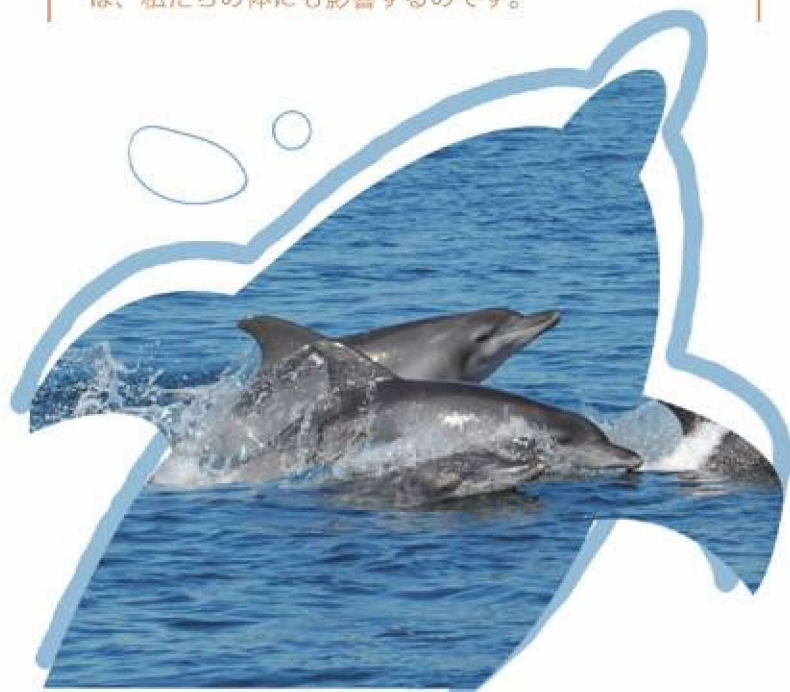
豊かな森林や田畑は、豊富な湧水や地下水を育みます。さらに、降った雨は土に貯えられ、ゆっくりと川に流れることで洪水を防いだり、土砂が流れ出すのを防いだりします。森林や田畑を守ることは、私たちの生活とともに、川や海を守ることに繋がります。



わたしも水循環

私たちの体のおよそ70%は水でできています。

また、肉や野菜など、食べ物も多くの水を含んでいます。私たちが口にした水が排出され、下水処理場や浄化槽できれいになって海に戻ることを考えると、私たちの体も大きな水循環の一部なのです。水を汚すことは、私たちの体にも影響するのです。





学べる場所が充実



「大野ESD自然学校」(垂水市)や「なぎさミュージアム」(始良市)など、水のことを体験しながら学べる拠点が錦江湾奥にはあります。水とふれあった体験から得られる驚きや感動は、忘れられない思い出になるでしょう。

なんと言っても魅力が満載

「波穏やかな海」「活火山」「都市」を一度に見ることが出来る景色は、世界でもとても珍しいものです。豊かな水と火山の恵みによって、多くの滝や湧水、豊富な湯量と様々な泉質を誇る温泉、そして農林水産物など錦江湾奥には魅力があふれています。



みらいに水の循環を引き継ぐために



知る

まず、水がどのように循環しているか知ろう。

伝える

水とのふれあいで感じた驚きや感動を誰かに伝えよう。

守る

水を守ることは小さな一歩から。少しずつ始めてみよう。

“錦江湾奥流域水循環計画”が、水の循環を“知る”きっかけになれば幸いです。

発行・企画：錦江湾奥会議（鹿児島市、垂水市、霧島市、始良市）
写真提供：廣澤 順也、かごしま水族館 デザイン：佐藤 悠奈（敬称略）
（お問い合わせ）鹿児島市環境保全課 電話：099-216-1297

計画の詳細は
ホームページを
ご覧ください。

